

2018年度 常磐大学同窓会総会・懇親会開催

2018年度常磐大学同窓会総会が6月23日(土)に、常磐大学Q棟センターホールで開催され、会員24名が出席しました。
総会の開会にあたり、池田正則会長(人間科学部1期卒)より「なかなか総会への参加者が増えない状況です。職場の最近人手が減らされ、兼務に次ぐ兼務で、なかなか時間が取れないのかなという気がしています。役割が増え、忙しいと思いますが、お互いに健康に気を付けて頑張りましょう。」と挨拶がありました。
その後、議長に指名され、議事に入り

その後、会場をQ棟インターネットカフェ・ラッツアに移して開催された懇親会では、池田正則会長(人間科学部1期卒)より、「大学卒業後、水戸市社会福祉事業団の立ち上げとともに、福祉の世界に入りました。福祉の仕事も今年33年目を迎えて、常磐大学コミュニティ振興学部の社会福祉士の実習生を受け入れていきます。私が学生だった1期生、2期生の頃はとんでもない学生がばかりだったので、最近施設で、これからの常磐大学に期待して

います。」との乾杯の挨拶で開会しました。会員出席された先生方との旧交を温め、また当日課外活動成果報告会を行った学生との交流を楽しみました。最後に西野光範副会長(人間科学部2期卒)による3本締めにより、閉会となりました。懇親会には会員21名のほか、退職教員2名を含む教員6名、課外活動の成果報告を行った学生20名の計47名が参加しました。
当日撮影した写真は、ホームページでも紹介しています。

2017年度 常磐大学同窓会事業報告

- 1. 会議の開催
1) 総会
開催日：2017年6月24日(土) 13時45分~14時20分
会場：常磐大学Q棟センターホール
出席者：29名
主な議案等
【報告】2016年度事業報告、2016年度決算、入会状況報告、役員選出【議案】2017年度事業計画、2017年度予算
※ 総会終了後に2016年度常磐大学同窓会課外活動奨励金受給者による報告会を実施した。
2) 懇親会
開催日：2017年6月24日(土) 15時30分~17時00分
会場：常磐大学Q棟インターネットカフェ・ラッツア
出席者：31名(課外活動奨励金報告者も含む48名)
幹事会
○実施時期および主な議案等
5月27日(土) 2016年度事業報告、2016年度決算について、役員選出等
11月25日(土) 課外活動奨励金審査結果報告、2018年度総会について等
3月24日(土) 2017年度事業計画案承認、2017年度予算承認等

- 2. 学生支援事業
1) 学園祭への奨励金(2017年9月)：《給付金額：50,000円》
2) 常磐大学同窓会課外活動奨励金制度の実施
(学生プロジェクト：2017年9月、スポーツ・文化活動：2018年6月)
【奨励金給付別】
① 松前啓成ゼミナール 学生プロジェクト - 《給付金額：200,000円》
「身近な地域における環境再生」をテーマとして、①「常磐の森再生プロジェクト」②「常磐大学ファームプロジェクト」に取り組みました。①は大学構内にある「常磐の森」を中心とした環境保全を図る活動で、ホルタルネットワークmitoや近隣の教育機関等と密接につながりながら活動を行った。②では茨城の「農」と「食」を軸とした「耕作放棄地問題」に取り組んでいて、常陸太田市「常磐大学ファーム」とひたちなか市「桜川農場」で2018年度から両の谷公園にも協力を依頼し、3つのフィールドで活動した。また、これらの2つのプロジェクトを継続して行うとともに、12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2017」で活動成果を発表した。
② M4-1 学生プロジェクト - 《給付金額：200,000円》
ひたちなか市那珂河原地区で毎年8月に開催されるアートイベント「みなとメディアミュージアム」において、企画立案や、アーティストの制作サポート、開催中の作品管理・来客対応などの運営サポートを行った。30名近くの学生がボランティアスタッフとして参加した。また、同地区で毎月第3土曜日に開催される「トクIWAまちなかラボ」での「トクIWAまちなかラボ」プロジェクトでワークショップを実施した。
③ 「TSSボランティア TRICOLOR (トリコロール)」 - 学生プロジェクト - 《給付金額：200,000円》
「いわとき(若手×常勤)プロジェクト」として、東日本大震災の被災地である若手県沿岸部の課題解決に向け、「できることを、できるときに、出来るだけ」をテーマに活動している。「若手〜見る〜実施する〜伝える〜振り返る」といった段階を踏みながら、2018年度も若手県をはじめとした被災地の現状をより深く理解するための「船旅」を実施した。震災を風化させないため、9月には現地でのボランティア、10月のときわら祭りに参加して写真展示等をはじめとした「復興支援企画」の実施、11月には本学学生・教職員、地域の方々を対象に「東日本大震災復興フォーラム」を開催した。本活動は、継続したボランティア活動として次年度以降も行う予定である。
④ 「常磐大学吹奏楽団」 - スポーツ・文化活動 - 《給付金額：200,000円》
創団3年目(1985年)から毎年出場している茨城県吹奏楽コンクール・大学の部において2年連続の代表となり、9月17日(日)にひたちなか市文化会館で行われた、第29回関東吹奏楽コンクール・大学の部に出場し、銀賞を受賞した。
⑤ 池田正則 滞一 スポーツ・文化活動 - 《給付金額：200,000円》
2017年6月 第45回関東学生フィギュアスケート選手権大会 4級女子の部 第5位入賞
11月 平成29年度茨城県民総合体育大会フィギュアスケート競技会 青年B1女子の部 優勝
2018年1月 第30回日本学生水上手権 女子4級クラス 個人第5位入賞(団体でも常磐大学として第6位入賞)

- 3. 会員への大学情報の発信
○内容：会報「ときわの風」の発行および会員への送付
○時期：第25号(2017年10月16日発行)、第26号(2018年3月28日発行)
4. 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
○内容：異動情報受付等
5. 卒業生の個人情報管理
○管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル等
○時期：随時更新
以上

2018年度 常磐大学同窓会事業計画

Table with 2 columns: 月 (Month) and 事業内容 (Business Content). It lists activities like '常磐大学同窓会課外活動奨励金' and '懇親会' for various months.

上記の他、会員の個人情報管理および常磐大学同窓会ホームページ管理を行う。
(補足)※1 課外活動奨励金事業の募集、選考および審査の業務は、常磐大学に委託する。
※2 同窓会会報に総会の議決内容および報告内容を掲載する。

2017年度 常磐大学同窓会決算書

Income Statement for 2017. Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses). Total income and expenses are 176,667,865 yen.

Income Statement for 2018 (Forecast). Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses). Total income and expenses are 176,667,865 yen.

2018年度 常磐大学同窓会予算書(案)

Budget for 2018. Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses). Total income and expenses are 182,212,486 yen.

Budget for 2018 (Continued). Columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses), 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenses). Total income and expenses are 182,212,486 yen.



課外活動奨励金を受けた学生の活動報告

6月23日(土)に行われた2018年度常磐大学同窓会総会の後、常磐大学同窓会課外活動奨励金制度により2017年度に学生プロジェクト奨励金およびスポーツ・文化活動奨励金の給付を受けた4団体の学生による成果報告会が開催されました。この制度は、常磐大学の発展および社会貢献に寄与できる、またはそれが期待できる学生の課外活動に対して、奨励金を給付し、同窓会活動に対する認知度や理解度の向上を目的として、2011年度に創設されました。

松原ゼミナール

人間科学部心理学科4年 加藤 ありさ さん 他7名

私たち松原ゼミナールでは、身近な地域の環境再生をテーマに、他の環境団体と連携しながら、「常磐の森」や偕楽園公園内の環境整備、ホタル再生を行う「常磐の森再生プロジェクト」と、県内の耕作放棄地で農作物を栽培、それらを活用して、地域活性化などを図るイベントを行う「常磐大学ファームプロジェクト」に取り組んでいます。

昨年、奨励金をいただいたことにより、「エコプロ2017」に3日間出展し、来場者の方々に本ゼミの身近な地域への取り組みについて発表することができました。また、被災地支援を目的とした会津若松市白虎団地での「石窯ピザ交流会」や、地域活性化を目的とした金砂郷での「常陸秋そば収穫祭」を実施することができました。ご支援していただき、誠にありがとうございました。



TSSボランティア TRICOLOR

国際学部経営学科3年 三浦 遼 さん 他1名

TSSボランティアTRICOLORは、「できることを、できるときに、できるだけ」をテーマとして掲げ活動しています。東日本大震災で被災した岩手県沿岸部の課題解決を目的とした「いわとき(岩手×常磐)プロジェクト」や福島県いわき市に住む親子を支援する「こども元気プロジェクト」、親子の結びつきを深め、学習環境をさらに充実させることを目的とした「親子交流支援プロジェクト」など、多岐にわたって活動を展開しています。昨年は奨励金をいただいたことで岩手県へのボランティアツアー、本学での東日本大震災復興フォーラム等の実施により、自分達の学びを深めるとともに、地域の方々に被災地の現状をお伝えすることができました。TSSボランティアTRICOLORは、今後も震災復興や地域の活性化に向けて活動を続けていきたいと思っております。これからもご支援いただければ幸いです。



常磐大学吹奏楽団

人間科学部教育学科 初等教育コース3年 皆川 葵 さん 他1名

私たち常磐大学吹奏楽団は今年で創団34年目となり毎年定期演奏会、吹奏楽コンクールをメインに幅広い活動を行っております。一昨年の吹奏楽コンクールでは創団以来初めての東関東吹奏楽コンクールに出場することができ、去年も引き続き2年連続で出場することができました。また外部での演奏会では、年々演奏の依頼も増え本番を重ねることにお客さんの数も多くなっていることが感じられます。このことから、吹奏楽団の認知度が向上し今年度は例年よりも多い16名の新生が入団いたしました。このような様々な活動を行えることは、課外活動奨励金のご支援があったことと日々感じながら今年も東関東大会金賞を目指し日々練習に励んでおります。今後とも吹奏楽団へのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。



フィギュアスケート

コミュニティ振興学部地域政策学科4年 播田 實 さん

私は、小学3年生の時に母に誘われて一緒に親子スケート教室に参加したのをきっかけにフィギュアスケートを始めました。常磐大学に入学してからは、スケートの楽しさを仲間と共有したいという思いから、部員を集めスケート愛好会を設立しました。愛好会の活動では、実際にスケートを滑るだけでなく、毎年更新されるフィギュアスケートのルールの説明会なども行っています。また、昨シーズンは個人でインカレ(大学生の全国大会)に出場し4級女子のクラスで26人中5位に入賞させていただいたほか、関カレ(大学生の関東大会)では4級女子のクラスで17人中はじめて優勝することができました。

このように、フィギュアスケートを今まで続けてこれたことや、昨シーズンに様々な大会で良い成績を取ることができたのは、両親やコーチをはじめ、周りの方々が応援してくださったからだと思います。今回いただいた奨励金も常磐大学をご卒業された数多くの先輩方からの温かい応援だということ胸に刻み、今シーズンもよい成績を取られるように日々練習に励みます。



2018年度 体育会春季戦績報告

野球部春季リーグ戦戦績

関甲新学生野球春季リーグ(3部中2部)

常磐大学○ 10-5	×茨城大学	常磐大学× 0-5	○平成国際大学
常磐大学○ 13-2	×茨城大学	常磐大学○ 1-0	×埼玉大学
常磐大学○ 3-0	×松本大学	常磐大学○ 7-2	×埼玉大学
常磐大学○ 7-6	×埼玉大学	常磐大学○ 7-2	×新潟大学
常磐大学× 2-6	○平成国際大学	常磐大学○ 3-2	×新潟大学

※8勝2敗 2位 2部残留

2018年度 文化連合活動報告

常磐大学吹奏楽団

8月12日(日)

第58回茨城県吹奏楽コンクール出場

(会場:茨城県立県民文化センター).....茨城県代表

異動情報の更新にご協力ください

ご住所やご氏名の変更等により、本会からの郵便物が返送されるケースが増えております。ご住所やご氏名に変更がありましたら、左記までご連絡ください。

*同窓会のHPからも受け付けております。
http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai

メール: dosokai@tokiwa.ac.jp

FAX: 029-1231-6078

住所: 〒310-8585

水戸市見和1-430-1

常磐大学内 常磐大学同窓会事務局宛

編集後記

今年度も課外活動奨励金を給付した4団体から総会後に活動内容を報告してもらった。この制度を開始してからもう7年が経つ。毎年給付団体の報告を聞くたびに、活き活きと活躍している学生の姿に心を打たれる。常磐大学の先生には、学生に貴重な経験をさせてくれる機会を作っていたに感謝していることに感謝したい。自分が学生時代にこのようなアクティヴでボランティア精神に満ちた活動に参加する機会があれば参加したいと思っただろう。同窓会会員として、少しでもこの貴重な活動に援助させていただいていることを嬉しく思う。是非、学生のみならず、先輩から後輩へ活動に対する情熱を引き継いでほしい、活動を継続して欲しいと願う。そして、先輩は次年度活動報告する後輩を応援しに総会に足を運んでほしい。今年も5団体に奨励金を給付することができた。それぞれの団体の活動の成長が楽しみな。